

浄土真宗の宗則には 次のように定められています

第二条

法名は、得度式を受けた僧侶及び
帰敬式を受けた寺族または門徒に対
して、門主が授与する。

二項

法名は、漢字二字とし、「釋」
の字を冠するものとする。

例：釋○○

第三条

寺院住職又は住職代務は、所属す
る寺族及び門徒で、帰敬式を受けて
いない者が死亡したときは、前条第
一項の規定にかかわらず、法名を授
与することができる。

「法名授与規程」の一部抜粋

ききょうしき 帰敬式(おかみそり)とは

帰敬式とは、阿あ弥み陀だ如にょ来らい・宗しん祖らん親しん鸞らん
聖人しょうにんの御前おんまへで、真宗もんしゅう門徒もんととしての自覚
をあらたにして力強く生きることを誓
う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おか
みそり」ともいいます。

原則として、式はご本山（本願寺）
にてご門主もんしゅ（本願寺ご住職）様により
執り行われ、受式者は三帰依文を唱え、
剃髪になぞらえて頭に剃刀をあてられ、
「法名ほうみょう」を授与されます。



●詳しくは、お寺までお問い合わせください。

しょうじょうじ
證誠寺

〒292-0831 千葉県木更津市富士見 2-9-30

TEL 0438-22-2018

法名について

浄土真宗本願寺派 東京教区

ほう みょう 法名とは？

「法名」は、あみだによらい阿弥陀如来に帰依し、もんどう浄土真宗門徒となった方へ授けられるぶつでし仏弟子としての名前です。

「法名」は、おしゃか釋迦（釈迦）さまの弟子になったことを表すため、皆等しく「しゃく釋（釈）」の字を冠し、その後漢字二字を加えて「釋（釈）〇〇」とすることが定められています。

本来「法名」は、生前に本願寺でききょうしき“帰敬式”を受けた際にごもんしゅ門主（本願寺ご住職）様からいただきますが、“帰敬式”を受けずに亡くなられた場合は、所属寺の住職などがご門主様の代行として法名を授与します。

法名 釋 〇 〇

ポイント

- 法名は仏弟子であることをあらわす名前（仏教徒としての名前）
- 法名は「釋〇〇」の二字
- 法名の下に居士・大姉・信士・信女などはつけない
- 法名は生きている間にいただくもの

どうして
二字なのですか？

しゅうそ しんらんしょうにん宗祖 親鸞聖人が「釋親鸞」と名告られたことになり、私たちは二字の法名をいただきます。

なぜ、居士や大姉などが
つかないのですか？

浄土真宗のみ教えは、みな等しくともにお浄土への道を歩ませていただくという教えですから、「釋〇〇」の法名以外に位号などは必要ないのです。